

わかってできるマット運動

本題材で育成する資質・能力

コミュニケーションを行う力 進んで参加する態度

1 題材 「マット運動」

2 学年・学級 第3学年 1・2組 37名 (男子 37名)

3 題材の目標と題材設定の理由

題材の目標

- 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。【知識・技能】
- 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。【学びに向かう力・人間性】
- 自己や仲間の技などの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。【思考・判断・表現力など】

題材観

学習指導要領解説では「器械運動は、マット運動、鉄棒運動、平均台運動及び跳び箱運動で構成され、器械の特性に応じて多くの『技』がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことのできる運動である」とかいて示してある。中でも第3学年では、「技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする」とある。

器械運動の中でもマット運動は、「回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること」を身につけることができるように指導する。また他者と教え合うことで、コミュニケーション能力を育むとともに、自己の役割を果たす責任感や協働する力を育むことができる。

生徒観

生徒は1年時及び2年時においてマット運動を経験しており、前転や後転、開脚前転や開脚後転などの基本的な技を習得している。事前のアンケートではマット運動が好きと答えた生徒が68%で嫌いと答えた生徒が32%であった。嫌いな理由は、「怪我が怖い」や「マット運動に苦手意識がある」「基本的な技能を修得しきれていない」ことが挙げられる。逆に好きな理由は「技ができたらが楽しい」「できなかったことができたらうれしい」などの意見があった。授業には意欲的に取り組み、協力して活動することができるクラスである。課題解決に向けても積極的に取り組むことができると考えられる。

指導観

1・2年時での回転系や巧技系の「基本的な技術を向上する」ことをねらいとした学習を受けて、3年生では、自分に合った技を選択し向上することを学習のねらいとし、技ができる楽しさや喜びを味わうとともに、場の安全に注意することを理解させ学習に取り組ませたい。技能を向上させる際には、なぜできたのか、またはできなかったのかということを考えさせ、技能向上に生かすように指導していく。また、グループ活動を取り入れ課題解決に向けて話し合いをする中で、知識や技能の習得と、思考力・表現力の育成を図る。ワークシートも有効に活用し、思考したことを表現させることで単元の目標を達成できると考える。

4 本題材で身に付けたい資質・能力

- 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し積極的にコミュニケーションを行う力。【コミュニケーションを行う力】
- 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとに自主的・主体的に参加しようとする態度。【進んで参加する態度】

5 題材の評価規準

ア 運動への学びに向かう力・人間性	イ 運動についての思考・判断・表現	ウ 運動の知識・技能
①器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②安全な学習を大切にしようとしている。 ③互いに助け合い教え合おうとしている。	①自己の特徴を踏まえた技を選んでいいる。 ②自己の特徴を踏まえた技を向上させるための課題を見つけ、改善しようとしている。 ③グループワークなど話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。	①選んだ技を安定して行うことができる。 ②技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。

6 題材の指導計画

時間	1	2・3	4（本時）・5	6・7	8
題材	選んだ技を向上させよう！				
資質・能力	<p>○自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力。 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとくに自主的・主体的に参加しようとする態度。</p> <p style="text-align: right;">【コミュニケーションを行う力】 【進んで参加する態度】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・ペア活動・少人数班等における グループワーク </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・「考えよう！」から「説明しよう！」に発展する課題 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・自己評価カード </div> </div>				
学習過程	<p>基礎的・基本的技能の習得</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 課題設定(1) 選んだ技を向上させよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 技の基本的技術のポイントをつかむ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 課題設定(2) 同じ技のグループ練習をする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 自分や他者の課題を見つけ改善する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 創造・表現 条件を変えた技や発展技等を取り入れ、技を構成する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> ・実技テスト ・振り返り学習 </div> </div>				
生徒の活	マット運動への意欲	基本的な技術の練習・習得	課題の発見	課題改善練習	実技テスト 振り返り学
性 学 び ・ 人 間	マット運動の授業に主体的に取り組もうとしている。	自分や他者の課題発見についての話合いに積極的に参加しようとしている。			
表 思 ・ 判	自分や他者の課題を分析し、発見している。				
知 ・ 技	基本的な技術を習得している。	考えた課題をもとに表現している。	安全な学習にするための場の設定や練習方法を考えている。		基本的な技能や応用技を実技テストで活用できる。
主 体 的 な 学 び を 創 造 す る た め の 指 導 の ポ イ ン ト	○安全な学習の進め方を確認させます。 ○既習技のポイントを確認します。 ○単元の流れなどを提示し、見通しを持たせます。	○グループ活動を取り入れ、教え合いを通して知識・技術の習得を図ります。	○ペアやグループによる話し合い活動等で、言語化させ合い、理解を深めさせます。 ○分かったことをグループごとに説明させます。	○技に工夫を加え、既有的知識・技能を活用して発展技や条件を変えた技に挑戦させます。 ○自己評価・他者評価・相互評価により、できたことや課題を認識させます。	○既有的技能を活用して、発表します。 ○めあてに対し、発言させたり書かせたりして振り返らせることで、できたことを実感させます。

7 本時の学習(3時間目)

(1) 本時の目標

選択した技の課題を見つけ、改善しよう！

【思考力・判断力】

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (評価方法)
導入	1 集合・整列・挨拶・準備運動を行う。	◇出欠席, 忘れ物を確認しておく。 ◇怪我防止を意識させて体操させる。 ◇体力強化運動を行う。	
展開	2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">本時のめあて 選択した技の課題を見つけ、改善しよう！</div>		
	3 基本技の練習。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%; text-align: center;">言語活動の充実</div>	◇基本的な技を正確に行わせ, 発展的なわざに繋がることを意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%; text-align: center;">言語活動の充実</div>	○自分や仲間の課題に応じた理論を説明できる。 (行動観察) (振り返りカード)
まとめ	5 本時を振り返り, 次時につなげる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;">生徒のまとめ例 <開脚前転> ・脚を開くタイミングを着地直前にすることで勢いがついた。 <前方倒立回転跳び> ・回転直前のステップをタン・タ・タンとリズムカルに行うことによって助走の勢いを落とさず回転することができる。</div>	◇個人の反省を行う。 ◇2～3名に発表させる。 ◇反省を次時につなげるよう促す。	○個人の反省が できている。 (ワークシート)